

アッケシソウの歴史

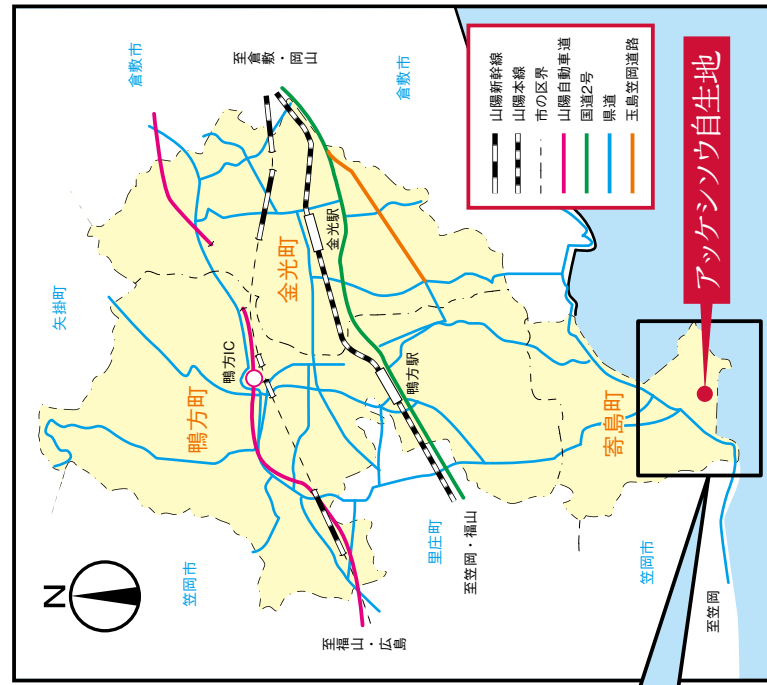
アッケシソウを守る会のあゆみ

- 1891年 北海道厚岸町牡蠣島で発見
町名に因んでアッケシソウと命名
- 1913年 愛媛県新居浜市で発見
- 1921年 厚岸町牡蠣島のアッケシソウを国の天然記念物に指定
- 1975年 徳島県鳴門市高嶋塩田で発見
- 1985年 瀬戸内市牛窓町錦海湾で人為的に植栽
- 1986年 徳島県・香川県内に生育地を確認
- 1991年 浅口市寄島干拓地内で生育を確認 (未発表)
- 1994年 厚岸町牡蠣島のアッケシソウは、国の天然記念物指定解除
- 2003年 浅口市寄島干拓地内で群生地発見
- 2004年 寄島町の天然記念物に指定
同時に「アッケシソウを守る会」を結成して保護活動開始
- 2006年 浅口市の天然記念物に指定
- 2009年 晴れの国おかやま景観百選に選ばれる
アッケシソウを守る会 設立5周年記念式
「寄島のアッケシソウ」刊行
第10回おかやま県民文化大賞受賞 (岡山県)
- 2010年 愛称が「寄島アッケシランド」に決まる
- 2013年 あさくち未来デッサン採択事業
「フラワーロードづくり」ハマユウ・ハマナスの栽植
A地区にヨリシマアッケシソウキバガが発生
- 2014年 アッケシソウを守る会 設立10周年記念式
記念植樹 (サンゴジュ、ハナミズキ)
- 2015年 フラワーロード看板設置
- 2016年 A地区に説明看板、各地区表示看板設置
C地区に木道設置
- 2018年 第29回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞
岡山県備中県民局環境保全功労者表彰受賞 (岡山県)

(地名は現在名)



アッケシソウの保護活動



本州唯一の
アッケシソウ自生地

寄島アッケシランド

浅口市指定 天然記念物

発行 浅口市教育委員会
 協力 浅口市寄島町アッケシソウを守る会
 お問い合わせ 浅口市教育委員会事務局 寄島分室
 ☎ (0865) 54-3110



アッケシソウ

名前の由来 1891年に北海道厚岸町の牡蠣島で発見された。
アッケシソウはその町名をとり命名。
別名：サンゴソウ、ヤチサンゴ、クラブグラス

科・属 ヒユ科・アッケシソウ属

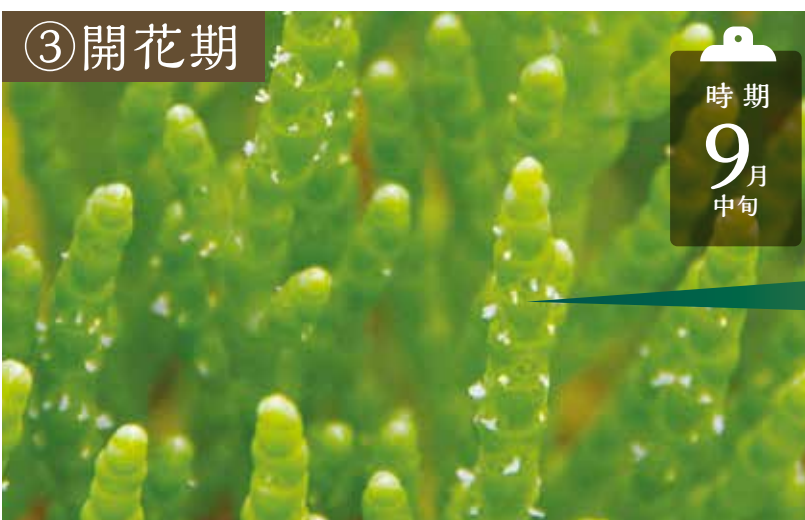
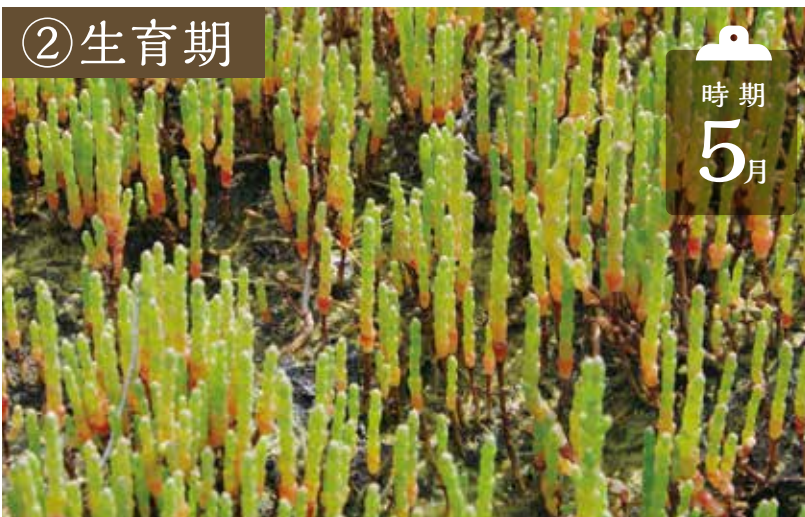
生態

- ・海水の流入する塩湿地に生育する1年草。
- ・茎は多くの枝に分かれ草丈は10～40cm。
- ・葉は肉質で、鱗片状に退化。
- ・花は夏から秋にかけて、一節に3花ずつ両側につき、各花の中央部に白い雌しべ雄しべが見られる。
- ・秋には、全体が緑から紅色に変わり、その形状から別名サンゴソウと呼称。

分布 北半球に広く分布し、日本では現在北海道・岡山県・香川県で生育を確認。
(浅口市寄島町が本州唯一の自生地)

絶滅危惧ランク 環境省絶滅危惧Ⅱ類（絶滅の危険性が増大している種）

アッケシソウの1年間



開花期のアッケシソウの様子

